

## 三尻地区幼小中地域防災訓練

- 1 ねらい
- (1) 地震災害に備えて、隣接する幼稚園・小学校・中学校・地域が合同で防災訓練を実施することで園児、児童、生徒や教職員・保護者、地域の方々の危機対応能力を高め、絆を深める。
  - (2) 幼・小・中・地域が十分な連携を図ることで各所の自主的防災体制を確立する。

2 日時 平成27年12月12日(土) 10:00～

3 概要

- (1) 訓練の想定震度・被害状況と各部の行動基準
- 想定震度 5
- 《第1次避難》
- 小学校避難開始→避難経路の安全確認各学校校庭
- 《第2次避難》
- 小学校校内施設の安全確認→保護者にメール配信→児童帰宅準備
- 登校班毎に小学校校庭(雨天時体育館)待機(中学生待ち)
- 中学生と共に下校
- 保護者 自宅付近にて下校の見守りと引き取り

### 防災訓練実施計画(地震→避難→地区別集団下校)案

三尻小学校

- 1 ねらい
- (1) 三尻地区防災訓練により防災意識を高め、危機対応能力を養う。
  - (2) 合同防災訓練により、幼小中、地域の連携を図り、絆を深める。
  - (3) 敏速に安全行動がとれるよう落ち着いて集団行動を行う。

2 日時 平成27年12月12日(土) 10:00～11:30

(2時間目後半～)

(教科1時間、学校行事1時間)

3 場所 校舎内 → 校庭(体育館) → 下校して各家庭

4 参加範囲 全校児童・職員

5 計画

(事前指導)

- ① 日頃の地震に対する備え、避難経路について話す。
- ② 避難時は「おかしもち」を徹底する。
  - お おさない
  - か かけない(校舎内のみ・外は小走り)
  - し しゃべらない
  - も もどらない
  - ち ちかづかない
- ③ 整列順序を決めておく。
- ④ 校内放送をしっかりと聞かせる。
- ⑤ 校庭に避難後、中学生の先導により下校する合同防災訓練であることを指導する。
- ⑥ 帰りの支度を訓練しておく。

(当日)

基本行動	教師の行動	児童の行動
10:00 緊急地震速報 (2分)	(放送・栗原利) 緊急地震速報受信端末機を使ってチャイム音(2回) 「地震です。落ち着いて身を守ってください。」 ※2回繰り返し 地震の揺れの効果音	・緊急地震速報を聞いたなら、自らの判断で、「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」安全な場所へ移動し身を守る。 ・教室では、机の下にもぐり、机の脚を対角線にしっかりつかみ、揺れが収まるまで待つ。
	・児童の行動については教職員側から指示しない。 ・机の下にもぐれない、うまく行動できない児童に対しては教職員から指示を与える。 ・効果音が流れている間は、机から出てこないように見守る。	

10:04	(緊急放送・教頭)	
避難の放送 (1分)	地震の揺れが収まってきました。 先生の指示に従って校庭に避難しなさい。	
通報の確認	・ 通報内容を正確に聞き取らせる。 ・ 窓を閉め、出入口を開けさせる。	① 静かに放送を聞く。 ② 出入口を素早く開ける。
避難出口の確保 危険物の処理	・ 電気のスイッチを切る。(ガス等の栓を閉める。) ・ 避難の指示をする。	③ 静かに教師の指示を待つ。 ④ 紅白帽子をかぶる。
校庭へ避難 (3分)	・ 担任(授業者)は黒板下の名簿を持つ。 ・ 避難経路から避難する。 けが人や心身に障害をもつ児童は十分に配慮する。	⑤ 「おかしもち」を守る。 ⑥ 校舎内は走らず、校庭にでたら、小走りで避難場所に待合する。
10:10 (5分)	・ 避難場所でただちに人数の確認・報告 (担任) → (学年主任) → (教頭) ・ 次の指示(校長) ・ メール配信をする。(戸谷)	⑦ クラス毎に整列し、すわって静かに待つ。
10:15 教室に戻り、 帰りの支度	・ 避難訓練について話をし、よりすばやく安全にできるようにさせる。 ・ 帰りの支度を手際よくさせる。	⑧ ベランダで上履きの裏を拭き、帰りの支度をする。
10:25 <u>コの字型</u> に 整列 (2分)	・ 班長が1年生を迎えに行ってから、 <u>コの字型</u> 一斉下校の位置に並らぶ。 ・ 三尻小児童の避難状況を三尻中学校教頭へ報告する。(小島教頭)	⑨ <u>コの字型</u> 一斉下校の位置に並ぶ。班長は1年生を迎えに行つて並ばせる。
10:30 中学生を待つ	・ 地区毎に班長先頭に並ばせ、人員を確認する。	⑩ 静かにすわって中学生を待つ。
通学班毎に下校	・ 中学生に安全に先導するよう指導する。小学生には、一人一人が安全に気をつけるよう話す。 ・ 地区担当が小中学生の様子を見ながら各地区の集合場所まで安全に連れて行く。 ・ 三尻中校庭において炊出し訓練の支援を行う。	⑪ 地区の班毎に中学生の先導で、安全に下校する。
11:30		

(事後指導・評価)

- ① 避難訓練の反省をする。
  - ・ 「おかしもち」を守って、迅速・安全に避難できたか。
  - ・ 地震及び火災発生の場合の避難の仕方、避難経路を覚えることができたか。
- ② 防災についての心構えを確認する。

- 6 出席簿・名簿の持ち出し  
出席簿…職員室の所定の場所に置いておく→担当者が一括して校庭へ  
名簿…板目に最新の名簿を貼り、黒板の下へ常時置いておく  
→担任(授業者)が校庭へ
- 7 指揮系統 校長(防火責任者・教頭 → 学年主任 → 学級担任)  
\* 報告は、指揮系統の逆の順で行う。  
※ 報告の仕方「〇年生児童〇名、欠席〇名、現在〇名全員います。」
- 8 避難経路 別紙(第1回避難訓練と避難場所は同じ)
- 9 最後に昇降口を閉める担当  
第1昇降口(小林詩) 第2昇降口(半田) 第3昇降口(大澤) 第4昇降口(高澤)  
職員玄関・体育館通用口(栗原正)・教室棟通用口(櫻沢)  
※ セルフの先生に教室棟昇降口の最後の確認をしてもらう
- 10 その他  
・ 雨天時は、体育館へ避難する。  
始めは朝礼隊形。校長先生の講評が終わってから、コの字型の一斉下校隊形。

